

# 秋にお薦めの本



## ミステリー

本宿中学校図書館 2021・10月

NDC	『書名』	著者名(監修者)	出版社	
913	『探偵は友人ではない』	川澄浩平	東京創元社	『探偵は教室にいない』に続く第2弾。中学生の私と学校に通っていない幼馴染で名探偵の彼の物語。
913	『マスカレード・ナイト』	東野圭吾	集英社文庫	『マスカレード』シリーズ第3弾。映画公開中。「マスカレード・ホテル」「マスカレード・イブ」もあります。
913	『夜市』(よいち)	常川光太郎	角川文庫	妖怪たちがさまざまなものを売る不思議な市場の「夜市」は、望むものは何でも手に入る。

## スポーツ・芸術

NDC	『書名』	著者名(監修者)	出版社	
783	『あの夏の正解』	早見一真	新潮社	昨夏、甲子園での高校野球が中止となりました。横浜桐蔭高校野球部だった著者が、石川県と愛媛県の強豪校を訪ね、甲子園を目指していた選手や監督を取材した本です。
762	『もし大作曲家と友達になったら・・・』	S・イツサーリス	音楽之友社	2001年にイギリスで出版された「WHY BEETHOVEN THREW THE STEW(なんでベートーベンはシチューをほっぽったか)」の日本語版です。
913	『たゆたえども沈まず』	原田マハ	幻冬舎	物語の舞台は1886年ジャポニズム旋風が吹き荒れるパリ。ゴッホとゴッホの弟で画商のテオの前に林と狩野という日本人が現れ・・・

## 食に関する本

NDC	『書名』	著者名(監修者)	出版社	
913	『マカン・マラン』	古内一絵	中央公論新社	商店街に入った路地裏に、深夜だけ営業しているカフェ「マカン・マラン」。ここには、さまざまな悩みをかかえた人がやってきます。
913	『ライオンのおやつ』	小川糸	ポプラ社	「人生の最後に食べたいおやつは何だろう？」この本を読むと考えるはずです。そしておやつには、幸せなストーリーがあったのだと思うのです。
953	『ハロウィーンってなあに？』 (絵本)	C・デモワノー	主婦の友社	ハロウィンの由来や楽しみ方を魔女のピビと一緒に学んでみよう。かぼちゃのタルトの作り方も載っています。
596	『世界の郷土料理事典』	青木ゆり子	誠文堂新光社	全世界各国・300地域の料理の作り方を通して、歴史、文化、宗教の食規定を見てみよう。

## 夜空を見てみよう

NDC	『書名』	著者名(監修者)	出版社	
913	『夜のピクニック』	恩田陸	新潮社文庫	高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」。それは全校生徒が夜を徹して80キロを歩きとおすという北校伝統の行事です。
913	『月夜とめがね』	小川未明	立東社	月のきれいな夜、おばあさんのところに、2人の訪問者がやってきました。
913	『満月珈琲店の星詠み』	望月麻衣	文春文庫	文庫版は悩める人々の前に現れる満月珈琲店の話。絵本版『満月珈琲店』もありますが、文庫版とは違うお話。どちらも短編集です。
440	『星空を届けたい 出張プラネタリウムはじめました！』	高橋真理子	ほるぷ出版	科学館のプラネタリウムで働く高橋さんは、目が見えない人や長期入院で外出ができない子どもたちに星空を届けたいと思いました。

☆他にも新しい本が入荷しています。開館している日をチェックして、図書館に来てくださいね！